

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	消防局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	消防局予防課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-861-1504
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	自主防災組織等育成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	大規模災害時等の被害を少しでも防ぐために「自分たちの地域は、自分たちで守る。」という自助・共助の意識の醸成と高揚を図るとともに、結成された自主防災組織の活動を推進するための防災訓練を支援する等の育成指導を行い、地域防災力の向上を図る。				
5年度概要	防災訓練に係る非常食品の助成事業 自主防災組織連絡協議会補助金 消防支援隊・消防協力隊ボランティア保険				
重点取組事業		市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

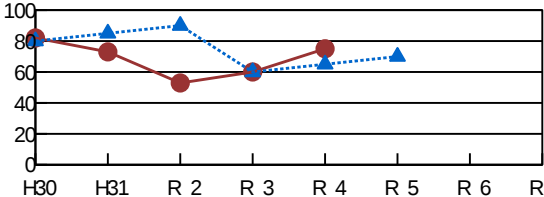
対象（何を）	地域コミュニティ、自主防災組織
意図（どのような状態にしたいか）	防災訓練等の実施を呼びかけ支援することにより、自主防災組織の活動を強化して、地域防災力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
非常食品助成率	%	11.4	27.3	59.1	40	30

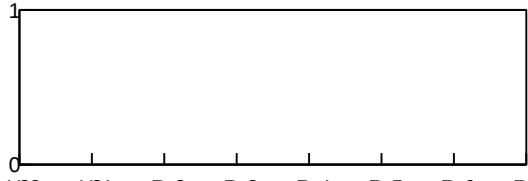
【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	避難所運営訓練又は安否確認訓練実施率	%	目標値	90	60	65	70	65
			実績値	52.9	60	75		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 感染症対策をした上で、従来型の防災訓練を実施するよう呼びかけたことにより、防災訓練実施率が回復し、それに併せて避難所運営訓練を実施する地域が増え、修正した目標値を達成できた。							
	(目標達成度) 							



(達成度)
115.4%
35点

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	(目標達成度)							



(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	26,318	25,659	27,455	23,248
（事業費）	〔円〕	3,872	3,009	5,003	796
（職員人件費）	〔円〕	22,446	22,650	22,452	22,452

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
文書により、従来型の訓練実施を促した結果、訓練実施率は回復傾向にあるものの、コロナ禍以降長期に渡って訓練が中止されている地域もあり、住民の防災意識の低下が懸念される。消防局として、積極的に自主防災組織に指針を示し、サポートできる制度が望まれる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
各消防署において、管内の自主防災組織の会長に対して、訓練方針を示し、各地域で防災訓練及び避難所運営訓練が実施されるようサポートする体制を整える。また、危機管理部門事業との連携強化を進めるため、危機管理課と協調して、自主防災組織の育成に当たる。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価 担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	地域防災対策事業		事業期間	平成 20年度～令和 5年度

【事業全体概要】					
事業の概要	高松市地域防災計画に基づき、防災活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図るため、総合防災訓練を実施する。				
	市民防災講演会講師謝金 C M S 災害用監視カメラ 防災士ネットワーク会員研修会講師謝金 防災士資格取得助成制度 家具類転倒防止対策事業補助				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】	
対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	本市地域防災計画に基づき、総合防災訓練を実施し、災害対策活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図る。地域防災力の向上を図るため、防災士の資格取得助成や研修会等を実施し、各地域において防災リーダーを養成する。

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
総合防災訓練実施回数	回	0	1	0	1	1
高松市民防災講演会開催回数	回	1	1	1	1	1

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	高松市民防災講演会参加人数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	68	67	56		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 高松市民防災講演会は各地域コミュニティ協議会からの代表者と一般市民に対して行いW E B会議システムも併用したが、新型コロナウイルス感染症の影響で参加人数は目標値に達しなかった。ただし、W E B会議の申し込みは1つでも、複数人で視聴されていたケースもあると思われる。							
	(目標達成度)						(達成度) 56.0%	19点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 行政による災害対策はもとより、市民一人一人が「自らの命は自らが守る」意識を持って、防災・減災に向けた具体的な取組を進めていくことが求められていることから、地域における防災力及び市民の防災意識の向上を目的として、令和5年1月25日（水）13時30分～15時30分に市民防災講演会を開催した。							
	(目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】					
指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	28,477	16,736	10,127	40,932
（事業費）	〔円〕	17,254	7,676	1,146	31,951
（職員人件費）	〔円〕	11,223	9,060	8,981	8,981

【評価】			
評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
気象台及び香川大学から講師を迎え、市民防災講演会を開催した。新型コロナウイルス感染症予防のため、会場とW e bのハイブリッド開催とするなど工夫したが、出席者は前年を下回ったため、より効果的な周知方法の検討が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
訓練内容について、定例的なものではなく、よりリアリティのある訓練となるよう防災力向上に努める。また、防災士のスキルアップを図ることで、地域の防災リーダーを養成し、自助・共助を促進していく。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	市民防災力向上推進事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松防災合同庁舎（危機管理）センター1階たかまつ防災プラザ等を拠点に、防災の情報を効果的に発信するとともに、地元ラジオ局での防災啓発番組において防災の情報を効果的に発信し、市民の防災意識の向上を図る。				
5年度概要	定期的な「ぼうさいまちカフェ」の開催やパネル展示など、防災情報の発信 講師謝金 防災プラザ等消耗品 防災啓発ラジオ番組制作委託業務				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

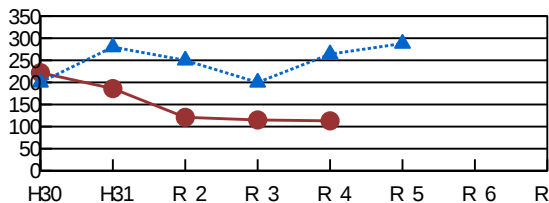
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	高松市防災合同庁舎（危機管理センター）1階「たかまつ防災プラザ」等を拠点に、香川大学の協力のもと「ぼうさいまちカフェ」の定期的な開催、パネル展示や大型モニターによる動画放送を行うとともに、地元ラジオ局での防災啓発番組により防災の情報を効果的に発信し、市民の防災力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
ぼうさいまちカフェ年間実施回数	回	9	9	10	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	ぼうさいまちカフェ年間参加人数	人	目標値	250	200	264	288	290
			実績値	121	115	113		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の影響で、まちカフェの開催方法をWebと現地のハイブリッド形式にするなど工夫を行ったが、コロナ対策としての事前申込みが必要というハードルもあるせいか、年間では月平均12名弱の参加にとどまり、目標人数に達しなかった。	（目標達成度） 						（達成度） 42.8%
								14点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	（目標達成度） 						（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	1,025	280	2,251	2,483
（事業費）	〔円〕	801	53	2,026	2,258
（職員人件費）	〔円〕	224	227	225	225

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 気軽に立ち寄れることが強みの防災まちカフェであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大で、Web併用のハイブリッド開催となり、参加も事前申込みをお願いすることとなった。今後、より多くの市民が安心して参加できるよう、開催方法や事業の周知、啓発方法の検討が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） ぼうさいまちカフェや防災啓発ラジオ番組は、南海トラフ地震などの大規模災害に対する備えや、水害時の避難の在り方など、市民の防災力を向上させるために必要な情報発信ツールであり、引き続き積極的に情報発信することで、より一層の防災力の向上を推進する。			